

THEOベスト・バランス・ファンド

運用報告書（全体版）

第2期（決算日 2023年1月31日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、「THEOベスト・バランス・ファンド」は、2023年1月31日に第2期の決算を行いました。
ここに作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| 商品分類 | 追加型投信／内外／資産複合 |
|--------|---|
| 信託期間 | 原則として、無期限です。（設定日：2021年10月29日） |
| 運用方針 | 「THEOベスト・バランス・ファンド」は、マザーファンド受益証券へ投資を行います。以下はマザーファンドである「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」の運用方針です。この投資信託は、主として世界の上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて、グロース運用（株式中心）、インカム運用（債券中心）、インフレヘッジ運用（实物資産中心）を行う3つの投資信託に分散投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指します。 |
| 主要運用対象 | ベビーファンド マザーファンド |
| 組入制限 | 「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券を主要な投資対象とします。 世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。 |
| | ①上場投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ③「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券への実質投資割合には制限を設けません。 ④一般社団法人投資協会規則に定める一者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託者は、一般社団法人投資協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととします。 |
| | ①投資信託証券（ETF）等への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③「THEO グロース・マザーファンド（世界の株式中心）」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド（世界の債券中心）」受益証券、「THEO リアルアセット・マザーファンド（世界の实物資産中心）」受益証券への投資割合には制限を設けません。 |
| 分配方針 | 毎年1月31日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づき収益分配を行います。ただし、必ず分配を行うものではありません。 |

<照会先>

電話番号：03-6629-7090

（受付時間：委託会社の営業日の9：30～17：00）

ホームページ：<https://www.money-design.com/>



東京都千代田区紀尾井町1番3号

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○設定以来の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 (分配落) | 価 額 | | | 投 資 信 託 組 入 比 率 | 純 資 産 総 額 |
|----------------------|--------------|---------|-----|--------|--------------------|--------------|
| | | 税 分 配 金 | 騰 落 | 中 率 | | |
| (設定日) 2021年10月29日 | 円 10,000 | 円 — | | % — | % — | 百万円 1 |
| 1 期(2022年 1 月31日) | 9,749 | 0 | | △2.5 | 99.6 | 0.974908 |
| 2 期(2023年 1 月31日) | 10,096 | 0 | | 3.6 | 99.4 | 25 |

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 | 価 額 | | 投 資 信 託 組 入 比 率 |
|-----------------------|------------|-----|--------|--------------------|
| | | 騰 落 | 率 | |
| (期 首) 2022年 1 月31日 | 円 9,749 | | % — | % 99.6 |
| 2 月末 | 9,688 | | △0.6 | 99.7 |
| 3 月末 | 10,343 | | 6.1 | 99.4 |
| 4 月末 | 10,175 | | 4.4 | 99.4 |
| 5 月末 | 10,152 | | 4.1 | 99.7 |
| 6 月末 | 10,117 | | 3.8 | 99.4 |
| 7 月末 | 10,374 | | 6.4 | 99.5 |
| 8 月末 | 10,433 | | 7.0 | 99.5 |
| 9 月末 | 10,074 | | 3.3 | 99.5 |
| 10 月末 | 10,625 | | 9.0 | 99.6 |
| 11 月末 | 10,324 | | 5.9 | 99.4 |
| 12 月末 | 9,825 | | 0.8 | 98.9 |
| (期 末) 2023年 1 月31日 | 10,096 | | 3.6 | 99.4 |

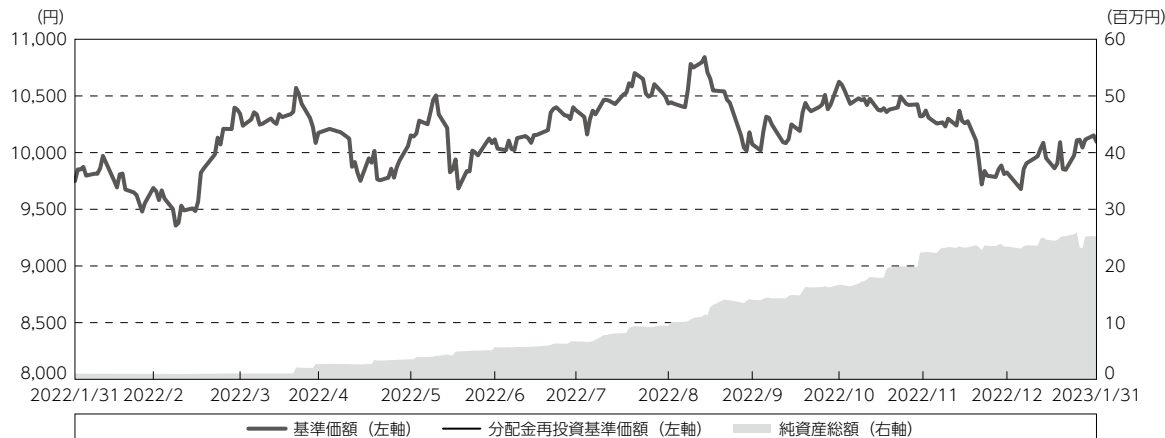
(注) 騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2022年2月1日～2023年1月31日)

期中の基準価額等の推移



期 首：9,749円

期 末：10,096円(既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：3.6%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年1月31日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示していません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+3.6%となりました。

当ファンドは、「THEO グロース・マザーファンド(世界の株式中心)」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド(世界の債券中心)」受益証券、および「THEO リアルアセット・マザーファンド(世界の実物資産中心)」受益証券を組み入れることによりファンド・オブ・ファンズ方式での運用を行っております。

当期においては、米国や欧州でのインフレ加速懸念とそれに対する中央銀行による利上げなどの金融引き締め政策により、株式は下落し、国債金利は上昇(債券は下落)したためいずれもマイナスの寄与となりました。一方で、実物資産に関しては貴金属やエネルギー関連はプラス寄与となりました。組み入れている対象の各マザーファンドは為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。当期は、為替相場が円安ドル高となったため、当ファンドの基準価額にプラスに寄与しました。

投資環境

当期においては、欧米を中心としたインフレ加速と各国中央銀行によるインフレ抑制のための金利引き上げ政策が金融市場の動向に大きな影響を与えました。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が長期化していることも市場のリスク回避的環境の一因となりました。株式は下落し、金利は上昇、また、実物資産については金や銀などの貴金属は上昇した一方、不動産や原油、天然ガスについては下落となりました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界の上場投資信託証券（ETF）への投資を通じて、グロース運用（株式中心）、インカム運用（債券中心）、インフレヘッジ運用（実物資産中心）を行う3つの投資信託に分散投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指します。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

分配金

当期の分配金は、長期的な投資信託財産の成長を追求する観点から無分配とさせていただきます。また、収益分配に充てなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

| 項 目 | 第2期 |
|-----------|--------------------------|
| | 2022年2月1日～ 2023年1月31日 |
| 当期分配金 | — |
| (対基準価額比率) | —% |
| 当期の収益 | — |
| 当期の収益以外 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 193 |

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

引き続き、「THEO グロース・マザーファンド(世界の株式中心)」受益証券、「THEO インカム・マザーファンド(世界の債券中心)」受益証券、および「THEO リアルアセット・マザーファンド(世界の実物資産中心)」受益証券への投資を通じ、実質的に世界のETFに投資することで、下落リスクを抑えつつ中長期的に安定したリターンの獲得を目指します。定期的に評価基準に基づいて組み入れ比率を調整して参ります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2022年2月1日～2023年1月31日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|-----------------------|---------|------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 信 託 報 酬 | 円 55 | % 0.544 | (a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 |
| （ 投 信 会 社 ） | (27) | (0.261) | 委託した資金の運用の対価 |
| （ 販 売 会 社 ） | (27) | (0.261) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| （ 受 託 会 社 ） | (2) | (0.022) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料 | 4 | 0.035 | (b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 |
| （ 投 資 信 託 証 券 ） | (4) | (0.035) | 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税 | 0 | 0.001 | (c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 |
| （ 投 資 信 託 証 券 ） | (0) | (0.001) | 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (d) そ の 他 費 用 | 15 | 0.149 | (d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 |
| （ 保 管 費 用 ） | (3) | (0.026) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| （ 監 査 費 用 ） | (3) | (0.033) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| （ そ の 他 ） | (9) | (0.089) | その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 74 | 0.729 | |
| 期中の平均基準価額は、10,156円です。 | | | |

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

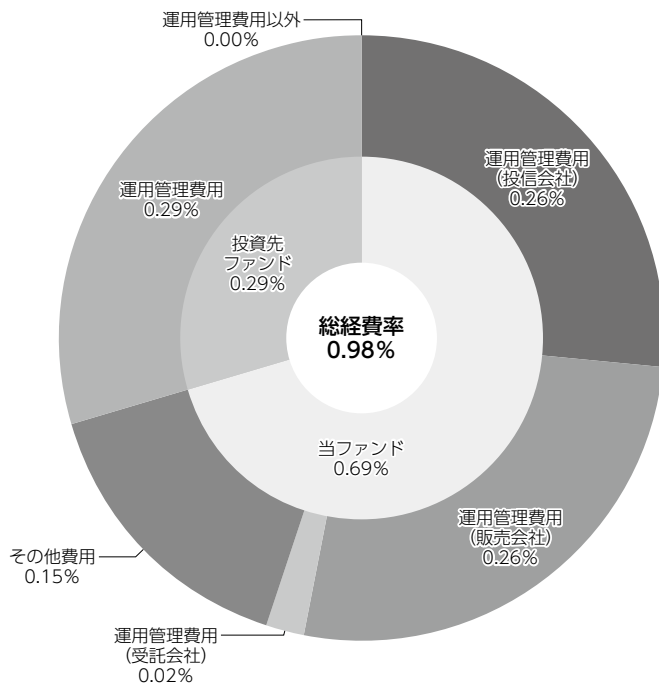
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.98%です。



(単位：%)

| | |
|----------------------|------|
| 総経費率(①+②+③) | 0.98 |
| ①当ファンドの費用の比率 | 0.69 |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.29 |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.00 |

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年2月1日～2023年1月31日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

| 銘柄 | 設 定 | | 解 約 | |
|----------------------------------|-------|--------|-------|-------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心) | 9,956 | 16,412 | 2,079 | 3,366 |
| THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心) | 9,663 | 12,242 | 2,703 | 3,338 |
| THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心) | 2,030 | 3,040 | 251 | 370 |

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月1日～2023年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2022年2月1日～2023年1月31日)

| 設定時 (元本) | 当期設定 元本 | 当期解約 元本 | 当期末残高 (元本) | 取 引 理 由 |
|-------------|------------|------------|---------------|------------------|
| 百万円 1 | 百万円 - | 百万円 - | 百万円 1 | 投資信託の当初設定時における取得 |

○組入資産の明細

(2023年1月31日現在)

親投資信託残高

| 銘 | 柄 | 期首(前期末) | 当 期 末 | |
|----------------------------------|---|---------|-------|--------|
| | | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 |
| | | 千口 | 千口 | 千円 |
| THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心) | | 328 | 8,204 | 13,574 |
| THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心) | | 292 | 7,252 | 8,796 |
| THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心) | | 83 | 1,862 | 2,762 |

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2023年1月31日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|----------------------------------|--------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心) | 13,574 | 53.8 |
| THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心) | 8,796 | 34.9 |
| THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心) | 2,762 | 11.0 |
| コール・ローン等、その他 | 82 | 0.3 |
| 投資信託財産総額 | 25,214 | 100.0 |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心) において、当期末における外貨建純資産 (4,523,942千円) の投資信託財産総額 (4,563,555千円) に対する比率は99.1%です。

(注) THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心) において、当期末における外貨建純資産 (1,633,258千円) の投資信託財産総額 (1,647,045千円) に対する比率は99.2%です。

(注) THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心) において、当期末における外貨建純資産 (378,081千円) の投資信託財産総額 (380,026千円) に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=130.47円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年1月31日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | 円 |
|---|-------------|---|
| (A) 資産 | 25,214,508 | |
| コール・ローン等 | 71,984 | |
| THEO グロース・マザーファンド (世界の株式中心) (評価額) | 13,574,560 | |
| THEO インカム・マザーファンド (世界の債券中心) (評価額) | 8,796,722 | |
| THEO リアルアセット・マザーファンド (世界の実物資産中心) (評価額) | 2,762,943 | |
| 未収入金 | 8,299 | |
| (B) 負債 | 63,924 | |
| 未払解約金 | 8,299 | |
| 未払信託報酬 | 46,317 | |
| その他未払費用 | 9,308 | |
| (C) 純資産総額 (A - B) | 25,150,584 | |
| 元本 | 24,910,485 | |
| 次期繰越損益金 | 240,099 | |
| (D) 受益権総口数 | 24,910,485口 | |
| 1万口当たり基準価額 (C/D) | 10,096円 | |

(注) 当ファンドの設定時元本額は1,000,000円、期中追加設定元本額は27,203,620円、期中一部解約元本額は3,293,135円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.0096円です。

○損益の状況 (2022年2月1日～2023年1月31日)

| 項 目 | 当 期 | 円 |
|-------------------|------------|---|
| (A) 有価証券売買損益 | △385,630 | |
| 売買益 | 130,700 | |
| 売買損 | △516,330 | |
| (B) 信託報酬等 | △ 64,811 | |
| (C) 当期損益金 (A + B) | △450,441 | |
| (D) 前期繰越損益金 | △ 21,895 | |
| (E) 追加信託差損益金 | 712,435 | |
| (配当等相当額) | (107,177) | |
| (売買損益相当額) | (605,258) | |
| (F) 計 (C + D + E) | 240,099 | |
| (G) 収益分配金 | 0 | |
| 次期繰越損益金 (F + G) | 240,099 | |
| 追加信託差損益金 | 712,435 | |
| (配当等相当額) | (172,813) | |
| (売買損益相当額) | (539,622) | |
| 分配準備積立金 | 308,392 | |
| 繰越損益金 | △780,728 | |

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(304,502円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(172,813円)および分配準備積立金(3,890円)より分配対象収益は481,205円(1万口当たり193円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

| | |
|-----------------|----|
| 1万口当たり分配金 (税込み) | 0円 |
|-----------------|----|

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO グロース・マザーファンド （世界の株式中心）

運用報告書

第6期（決算日 2023年1月31日）
（2022年2月1日～2023年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 信託期間 | 原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日） |
| 運用方針 | ①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の企業の成長性を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。 |
| 主要運用対象 | 世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。 |
| 組入制限 | ①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 | 価 額 | | 投 資 信 託 純 資 産 額 | 投 証 組 入 比 率 |
|----------------|--------|-------|------|-----------------|-------------|
| | | 期 騰 落 | 中 率 | | |
| | 円 | | % | | % |
| 2期(2019年1月31日) | 10,424 | △ | 8.5 | 105.4 | 707 |
| 3期(2020年1月31日) | 11,915 | | 14.3 | 93.9 | 1,263 |
| 4期(2021年2月1日) | 13,564 | | 13.8 | 99.9 | 1,597 |
| 5期(2022年1月31日) | 15,692 | | 15.7 | 99.6 | 3,237 |
| 6期(2023年1月31日) | 16,545 | | 5.4 | 99.4 | 4,547 |

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 | 価 額 | | 投 証 組 入 比 率 | 信 託 純 資 産 額 |
|---------------------|--------|-----|------|-------------|-------------|
| | | 騰 落 | 率 | | |
| (期 首) 2022年1月31日 | 円 | | % | | % |
| 2月末 | 15,692 | | — | 99.6 | 99.6 |
| 3月末 | 15,623 | | △0.4 | 99.6 | 99.2 |
| 4月末 | 16,870 | | 7.5 | 99.3 | 99.3 |
| 5月末 | 16,204 | | 3.3 | 99.5 | 99.1 |
| 6月末 | 16,223 | | 3.4 | 99.1 | 99.5 |
| 7月末 | 15,854 | | 1.0 | 99.6 | 99.3 |
| 8月末 | 16,394 | | 4.5 | 99.4 | 99.1 |
| 9月末 | 16,493 | | 5.1 | 99.3 | 99.4 |
| 10月末 | 15,626 | | △0.4 | 99.1 | 98.6 |
| 11月末 | 16,977 | | 8.2 | 99.4 | 99.1 |
| 12月末 | 16,757 | | 6.8 | 98.6 | 99.4 |
| (期 末) 2023年1月31日 | 15,843 | | 1.0 | 99.4 | 99.4 |
| | 16,545 | | 5.4 | | |

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年2月1日～2023年1月31日)

期中の基準価額等の推移

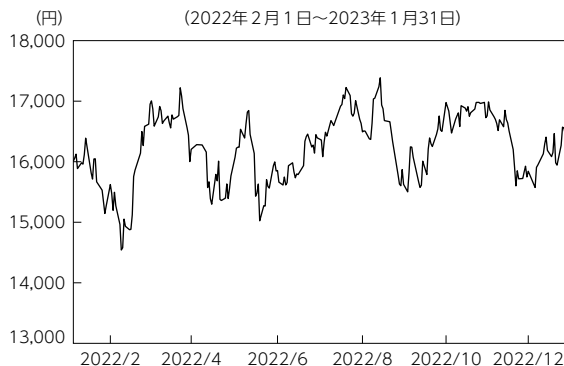
○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+5.4%となりました。

当期は、米国や欧州の中央銀行による金融引き締めによる世界景気への不透明感が高まる中、株式市場が下落したことがマイナス要因となりましたが、当期為替相場は対円で米ドル高となったため、基準価額は上昇しました。当ファンドは為替ヘッジを行っていないため為替相場の変動についても基準価額に反映されます。

【基準価額の推移】

(2022年2月1日～2023年1月31日)



投資環境

世界の株式市場の指数であるMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス（配当込み、米ドルベース）は-6.6%となりました。一方、米ドル円レートは+13.0%の米ドル高となりました。

期初から2022年10月中旬にかけては、米国や欧州の中央銀行による金融引き締めに対する懸念や、ロシアのウクライナ侵攻と各国による経済制裁、中国における新型コロナウイルスに対する行動規制などを嫌気して世界の株式市場は下落しました。その後、欧米の主要中央銀行が景気に配慮して利上げペースを減速させるとの見方が広がると米国、欧州、日本の株式市場は上昇に転じ、中国においてもゼロコロナ政策の見直しへの期待や不動産業界への支援策を背景に株価は上昇しました。2022年12月には世界的な景気後退による企業業績への懸念などを受けて先進国を中心に株価は反落したものの、2023年1月にはFRB（米連邦準備制度理事会）が利上げペースを緩めるとの見方や欧州の暖冬によるエネルギー不安の後退、中国のゼロコロナ政策撤廃などを受けて再び上昇に転じ、期末を迎えました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の株式へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の企業の成長性を享受し、投資信託財産を成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の企業の成長を享受することを目指します。定期的に、評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2022年2月1日～2023年1月31日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|---|---------------------|-----------------------------|--|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券) | 円 5 (5) | % 0.029 (0.029) | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券) | 0 (0) | 0.001 (0.001) | (b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他) | 8 (8) (0) | 0.049 (0.048) (0.001) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 13 | 0.079 | |
| 期中の平均基準価額は、16,213円です。 | | | |

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年2月1日～2023年1月31日)

投資信託証券

| 銘柄 | | 買付 | | 売付 | |
|--|------------------------------|--------|---------|--------|-------|
| | | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| 外 国 | アメリカ | 口 | 千米ドル | 口 | 千米ドル |
| | INVESCO QQQ TRUST SERIES 1 | 11,161 | 3,280 | 8,729 | 2,764 |
| | ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA | 47,261 | 2,014 | 10,202 | 389 |
| | ISHARES MSCI SOUTH KOREA ETF | 10,480 | 672 | 10,480 | 624 |
| | ISHARES MSCI MEXICO ETF | 18,113 | 944 | 44 | 2 |
| | ISHARES CHINA LARGE-CAP ETF | 57,092 | 1,801 | 51,302 | 1,551 |
| | ISHARES MSCI USA ESG SELECT | 8,333 | 711 | 4,069 | 361 |
| | ISHARES MSCI TAIWAN ETF | 27,954 | 1,348 | 9,463 | 495 |
| | ISHARES MSCI JAPAN ETF | 18,624 | 1,041 | 13,727 | 762 |
| | VANGUARD FTSE EMERGING MARKE | 56,953 | 2,169 | 30,453 | 1,287 |
| | VANGUARD FTSE EUROPE ETF | 47,200 | 2,496 | 54,730 | 2,934 |
| | VANGUARD MID-CAP VALUE ETF | 24,106 | 3,301 | 6,318 | 869 |
| | VANGUARD MID-CAP GROWTH ETF | 12,478 | 2,509 | 8,881 | 1,676 |
| | VANGUARD VALUE ETF | 14,939 | 2,044 | 13,370 | 1,895 |
| | WISDOMTREE INDIA EARNINGS | 23,674 | 779 | 17,970 | 569 |
| 小計 | 378,368 | 25,113 | 239,738 | 16,184 | |

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月1日～2023年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年1月31日現在)

外国投資信託証券

| 銘柄 | 期首(前期末) | | 当 期 末 | | 比 率 | |
|------------------------------|---------------|---------|-----------|-------------|-----------|--|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 | | | |
| | | | 外 貨 建 金 額 | 邦 貨 換 算 金 額 | | |
| (アメリカ) | 口 | 口 | 千米ドル | 千円 | % | |
| INVESCO QQQ TRUST SERIES 1 | 16,074 | 18,506 | 5,371 | 700,850 | 15.4 | |
| ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPA | — | 37,059 | 1,735 | 226,427 | 5.0 | |
| ISHARES MSCI MEXICO ETF | — | 18,069 | 1,041 | 135,836 | 3.0 | |
| ISHARES CHINA LARGE-CAP ETF | 28,967 | 34,757 | 1,112 | 145,111 | 3.2 | |
| ISHARES MSCI USA ESG SELECT | 14,769 | 19,033 | 1,640 | 214,054 | 4.7 | |
| ISHARES MSCI TAIWAN ETF | 23,202 | 41,693 | 1,870 | 244,024 | 5.4 | |
| ISHARES MSCI JAPAN ETF | 38,719 | 43,616 | 2,550 | 332,728 | 7.3 | |
| VANGUARD FTSE EMERGING MARKE | 12,976 | 39,476 | 1,662 | 216,936 | 4.8 | |
| VANGUARD FTSE EUROPE ETF | 84,481 | 76,951 | 4,640 | 605,500 | 13.3 | |
| VANGUARD MID-CAP VALUE ETF | 4,744 | 22,532 | 3,213 | 419,325 | 9.2 | |
| VANGUARD MID-CAP GROWTH ETF | 10,545 | 14,142 | 2,717 | 354,574 | 7.8 | |
| VANGUARD VALUE ETF | 40,152 | 41,721 | 5,944 | 775,621 | 17.1 | |
| WISDOMTREE INDIA EARNINGS | 29,935 | 35,639 | 1,157 | 151,026 | 3.3 | |
| 合 計 | 口 数 ・ 金 額 | 304,564 | 443,194 | 34,659 | 4,522,017 | |
| | 銘 柄 数 < 比 率 > | 11 | 13 | — | < 99.4% > | |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2023年1月31日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 投資信託受益証券 | 千円 4,522,017 | % 99.1 |
| コール・ローン等、その他 | 41,538 | 0.9 |
| 投資信託財産総額 | 4,563,555 | 100.0 |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（4,523,942千円）の投資信託財産総額（4,563,555千円）に対する比率は99.1%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=130.47円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年1月31日現在）

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 4,563,555,718 |
| コール・ローン等 | 41,537,795 |
| 投資信託受益証券(評価額) | 4,522,017,923 |
| (B) 負債 | 16,422,039 |
| 未払解約金 | 16,422,039 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 4,547,133,679 |
| 元本 | 2,748,417,559 |
| 次期繰越損益金 | 1,798,716,120 |
| (D) 受益権総口数 | 2,748,417,559口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 16,545円 |

(注) 当ファンドの期首元本額は2,063,386,028円、期中追加設定元本額は984,340,192円、期中一部解約元本額は299,308,661円です。

(注) 2023年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・THEO グロース・A I ファンド（世界の株式中心） 1,977,380,461円
- ・THEO グロース・ファンド（世界の株式中心） 762,832,468円
- ・THEOベスト・バランス・ファンド 8,204,630円

(注) 1口当たり純資産額は1.6545円です。

○損益の状況（2022年2月1日～2023年1月31日）

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|---------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 105,941,958 |
| 受取配当金 | 105,901,275 |
| 受取利息 | 40,683 |
| (B) 有価証券売買損益 | 113,080,323 |
| 売買益 | 507,463,343 |
| 売買損 | △ 394,383,020 |
| (C) 保管費用等 | △ 1,788,098 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 217,234,183 |
| (E) 前期繰越損益金 | 1,174,533,947 |
| (F) 追加信託差損益金 | 600,179,914 |
| (G) 解約差損益金 | △ 193,231,924 |
| (H) 計(D+E+F+G) | 1,798,716,120 |
| 次期繰越損益金(H) | 1,798,716,120 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO インカム・マザーファンド （世界の債券中心）

運用報告書

第6期（決算日 2023年1月31日）
（2022年2月1日～2023年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 信託期間 | 原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日） |
| 運用方針 | ①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界中の金利を享受することを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあります。 |
| 主要運用対象 | 世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。 |
| 組入制限 | ①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 | 価 額 | | 投 資 信 託 純 資 産 額 | 投 証 組 入 比 率 |
|----------------|--------|-------|------|-----------------|-------------|
| | | 期 騰 落 | 中 率 | | |
| | 円 | | % | | % |
| 2期(2019年1月31日) | 10,033 | | 2.2 | | 100.0 |
| 3期(2020年1月31日) | 11,093 | | 10.6 | | 96.2 |
| 4期(2021年2月1日) | 11,179 | | 0.8 | | 100.0 |
| 5期(2022年1月31日) | 11,977 | | 7.1 | | 99.7 |
| 6期(2023年1月31日) | 12,130 | | 1.3 | | 99.4 |

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 | 価 額 | | 投 証 組 入 比 率 | 信 託 純 資 産 額 |
|--------------------|--------|-----|-------|-------------|-------------|
| | | 騰 落 | 率 | | |
| (期首) 2022年1月31日 | 円 | | % | | % |
| 2月末 | 11,977 | | — | | 99.7 |
| 3月末 | 11,784 | | △ 1.6 | | 99.7 |
| 4月末 | 12,211 | | 2.0 | | 99.5 |
| 5月末 | 12,337 | | 3.0 | | 99.4 |
| 6月末 | 12,290 | | 2.6 | | 99.6 |
| 7月末 | 12,627 | | 5.4 | | 99.5 |
| 8月末 | 12,830 | | 7.1 | | 99.5 |
| 9月末 | 12,913 | | 7.8 | | 99.6 |
| 10月末 | 12,888 | | 7.6 | | 99.6 |
| 11月末 | 13,170 | | 10.0 | | 99.5 |
| 12月末 | 12,583 | | 5.1 | | 99.4 |
| (期末) 2023年1月31日 | 12,072 | | 0.8 | | 98.8 |
| | 12,130 | | 1.3 | | 99.4 |

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年2月1日～2023年1月31日)

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、+1.3%となりました。

当期においては、欧米を中心としたインフレ加速と各国中央銀行によるインフレ抑制のための金利引き上げにより、欧米の国債価格は下落傾向となりました。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により市場環境はリスク回避的となり、ハイ・イールド社債なども軟調な動きとなりました。終盤では、経済指標動向や景気後退懸念、当局者らの発言などを複合的に織り込みながら国債価格は変動を続けましたが、結果として通期では、米国国債、グローバル国債、ハイ・イールド社債などはすべてマイナス寄与となりました。当ファンドは、為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。当期は、為替相場が円安ドル高となったため、当ファンドの基準価格にプラスに寄与しました。

【基準価額の推移】



投資環境

世界の債券市場の指数であるブルームバーグ・グローバル総合指数（米ドルベース）は、-11.8%となりました。一方、米ドル円レートは+13.0%の米ドル高となりました。

当期においては、前半で欧米を中心としたインフレ加速と各国中央銀行によるインフレ抑制のための金利引き上げにより、欧米の国債価格は下落傾向となりました。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が長期化していることで市場はリスク回避的環境となり、社債等の価格下落の一因となりました。その後も欧米において金利の引き上げが繰り返し実施されたことにより景気後退懸念が強まった結果、中長期金利は一時的に低下しましたが、当局者らのインフレ抑制への強固な姿勢から国債は下落を続けました。足元では、経済指標や景気減速懸念、当局者らの発言などにより金利動向は左右される状況ではあるものの金利の上昇傾向は一旦落ち着いた様子で、リスク選好的な市場環境になりつつあります。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の債券等へ分散投資を行います。

当ファンドの目的は、世界各国の債券等の金利水準に着目し、安定した収益を確保することで、投資信託財産を着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定していません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の金利を享受することを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組み入れ比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2022年2月1日～2023年1月31日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|--------------------------------------|---------------|-----------------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券) | 円 4 (4) | % 0.033 (0.033) | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券) | 0 (0) | 0.001 (0.001) | (b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (c) そ の 他 費 用 (そ の 他) | 0 (0) | 0.001 (0.001) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 4 | 0.035 | |
| 期中の平均基準価額は、12,473円です。 | | | |

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年2月1日～2023年1月31日)

投資信託証券

| 銘柄 | | 買付 | | 売付 | |
|--|---------------------------------|--------|--------|--------|-------|
| | | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| 外 国 | アメリカ | 口 | 千米ドル | 口 | 千米ドル |
| | ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA | 17,509 | 1,996 | 549 | 60 |
| | ISHARES 20+ YEAR TREASURY BO | 5,340 | 644 | 18,150 | 1,996 |
| | ISHARES 7-10 YEAR TREASURY B | 14,381 | 1,481 | 30,134 | 3,057 |
| | ISHARES INTERNATIONAL TREASU | 4,530 | 195 | 23,434 | 968 |
| | ISHARES IBOXX USD HIGH YIELD | 79 | 5 | — | — |
| | ISHARES MBS ETF | 7,921 | 760 | 1,637 | 159 |
| | ISHARES 1-5Y INV GRADE CORP | 22,215 | 1,127 | 1,339 | 68 |
| | SPDR BLACKSTONE SENIOR LOAN ETF | 11,031 | 466 | 3,588 | 153 |
| | SPDR BLOOMBERG SHORT TERM HIGH | 17,456 | 433 | 5,103 | 127 |
| | VANGUARD SHORT-TERM TREASURY | 27,095 | 1,567 | 182 | 10 |
| | VANGUARD INTERMEDIATE-TERM T | 25,902 | 1,548 | 216 | 13 |
| 小計 | 153,459 | 10,227 | 84,332 | 6,615 | |

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月1日～2023年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年1月31日現在)

外国投資信託証券

| 銘柄 | 期首(前期末) | | 当 期 末 | | 比 率 |
|---------------------------------|---------|---------|-----------|-------------|------|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 | | |
| | | | 外 貨 建 金 額 | 邦 貨 換 算 金 額 | |
| (アメリカ) | 口 | 口 | 千米ドル | 千円 | % |
| ISHARES IBOXX INVESTMENT GRA | — | 16,960 | 1,866 | 243,581 | 14.8 |
| ISHARES 20+ YEAR TREASURY BO | 12,810 | — | — | — | — |
| ISHARES 7-10 YEAR TREASURY B | 15,753 | — | — | — | — |
| ISHARES INTERNATIONAL TREASU | 20,677 | 1,773 | 71 | 9,329 | 0.6 |
| ISHARES IBOXX USD HIGH YIELD | — | 79 | 5 | 780 | 0.0 |
| ISHARES MBS ETF | 19,388 | 25,672 | 2,453 | 320,071 | 19.5 |
| ISHARES 1-5Y INV GRADE CORP | 28,834 | 49,710 | 2,508 | 327,331 | 19.9 |
| SPDR BLACKSTONE SENIOR LOAN ETF | 22,450 | 29,893 | 1,256 | 163,922 | 10.0 |
| SPDR BLOOMBERG SHORT TERM HIGH | 38,063 | 50,416 | 1,252 | 163,457 | 9.9 |
| VANGUARD SHORT-TERM TREASURY | — | 26,913 | 1,565 | 204,219 | 12.4 |
| VANGUARD INTERMEDIATE-TERM T | — | 25,686 | 1,531 | 199,868 | 12.2 |
| 合 計 | 口 数 | 口 数 | 金 額 | 金 額 | 比 率 |
| | 157,975 | 227,102 | 12,512 | 1,632,563 | |
| | 7 | 9 | — | <99.4%> | |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2023年1月31日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|-----------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 投資信託受益証券 | 千円 1,632,563 | % 99.1 |
| コール・ローン等、その他 | 14,482 | 0.9 |
| 投資信託財産総額 | 1,647,045 | 100.0 |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（1,633,258千円）の投資信託財産総額（1,647,045千円）に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=130.47円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年1月31日現在）

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|----------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 1,647,045,645 |
| コール・ローン等 | 14,126,609 |
| 投資信託受益証券(評価額) | 1,632,563,135 |
| 未収入金 | 355,901 |
| (B) 負債 | 4,220,721 |
| 未払解約金 | 4,220,721 |
| (C) 純資産総額(A－B) | 1,642,824,924 |
| 元本 | 1,354,328,482 |
| 次期繰越損益金 | 288,496,442 |
| (D) 受益権総口数 | 1,354,328,482口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 12,130円 |

(注) 当ファンドの期首元本額は989,841,439円、期中追加設定元本額は522,309,558円、期中一部解約元本額は157,822,515円です。

(注) 2023年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・THEO インカム・A I ファンド（世界の債券中心） 903,756,542円
- ・THEO インカム・ファンド（世界の債券中心） 443,319,902円
- ・THEOベスト・バランス・ファンド 7,252,038円

(注) 1口当たり純資産額は1.2130円です。

○損益の状況（2022年2月1日～2023年1月31日）

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|--------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 35,594,097 |
| 受取配当金 | 35,583,881 |
| 受取利息 | 10,216 |
| (B) 有価証券売買損益 | △ 34,958,397 |
| 売買益 | 141,521,520 |
| 売買損 | △176,479,917 |
| (C) 保管費用等 | △ 12,324 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 623,376 |
| (E) 前期繰越損益金 | 195,686,231 |
| (F) 追加信託差損益金 | 131,051,028 |
| (G) 解約差損益金 | △ 38,864,193 |
| (H) 計(D+E+F+G) | 288,496,442 |
| 次期繰越損益金(H) | 288,496,442 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。

THEO リアルアセット・マザーファンド （世界の実物資産中心）

運用報告書

第6期（決算日 2023年1月31日）
（2022年2月1日～2023年1月31日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

| | |
|--------|--|
| 信託期間 | 原則として、無期限です。（設定日：2017年3月1日） |
| 運用方針 | ①主として世界の投資信託証券（ETF）に投資することにより、リスクの低減を図りつつ、世界の 実物資産への投資と経済的に同様な効果を得る投資をすることを目指します。 ②組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては、上記のような運用ができない場合もあ ります。 |
| 主要運用対象 | 世界の株式市場に上場されている投資信託証券（ETF）を主要な投資対象とします。 |
| 組入制限 | ①投資信託証券（ETF）への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 |

 お金のデザイン

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 | 価 額 | | 投 資 信 託 純 資 産 額 | 投 証 組 入 比 率 |
|----------------|--------|-------|------|-----------------|-------------|
| | | 期 騰 落 | 中 率 | | |
| | 円 | | % | | % |
| 2期(2019年1月31日) | 9,892 | | 0.3 | | 100.0 |
| 3期(2020年1月31日) | 10,946 | | 10.7 | | 99.9 |
| 4期(2021年2月1日) | 10,587 | △ | 3.3 | | 99.9 |
| 5期(2022年1月31日) | 13,019 | | 23.0 | | 99.6 |
| 6期(2023年1月31日) | 14,834 | | 13.9 | | 99.5 |

(注) 当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は表示しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

| 年 月 日 | 基 準 | 価 額 | | 投 証 組 入 比 率 | 信 託 純 資 産 額 |
|---------------------|--------|--------|------|-------------|-------------|
| | | 騰 落 | 率 | | |
| (期 首) 2022年1月31日 | 円 | | % | | % |
| | 13,019 | | — | | 99.6 |
| 2月末 | 13,304 | | 2.2 | | 99.6 |
| 3月末 | 14,732 | | 13.2 | | 99.5 |
| 4月末 | 15,026 | | 15.4 | | 99.4 |
| 5月末 | 14,836 | | 14.0 | | 99.7 |
| 6月末 | 14,812 | | 13.8 | | 99.8 |
| 7月末 | 15,037 | | 15.5 | | 99.6 |
| 8月末 | 15,101 | | 16.0 | | 99.2 |
| 9月末 | 14,432 | | 10.9 | | 99.4 |
| 10月末 | 15,272 | | 17.3 | | 99.7 |
| 11月末 | 14,955 | | 14.9 | | 99.4 |
| 12月末 | 14,460 | | 11.1 | | 98.8 |
| (期 末) 2023年1月31日 | | 14,834 | 13.9 | | 99.5 |

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2022年2月1日～2023年1月31日)

期中の基準価額等の推移

○基準価額の主な変動要因

当期、当ファンドの基準価額は、+13.9%となりました。

当ファンドでは為替ヘッジを行っていないことから、為替相場の変動が基準価額に反映されます。当期の為替市場は、日米の金利差が拡大したことや日米の中央銀行の政策スタンスの違いなどを反映して米ドル高円安となりました。このことが基準価額にプラスに寄与し、当期は貴金属、エネルギー関連、不動産関連、物価連動債のすべてがプラス寄与となりました。貴金属価格は、2022年2月から3月にかけてロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受けたリスク回避的な資金が流入して上昇しました。その後は軟調に推移しましたが11月ごろから利上げペース減速期待などを受けて再び上昇しました。原油価格はウクライナでの戦争開始から6月ごろまで上昇し、その後は期末にかけて軟調な推移となりましたが、エネルギー関連株式は不安定な値動きながら好業績を好感して通期では上昇しました。インフラ関連株式も、エネルギーや輸送施設関連などを中心に上昇しました。一方で、欧米の金利上昇などを受けて、不動産関連株式、米国物価連動国債は米ドルベースでは下落しました。

【基準価額の推移】



投資環境

当期の世界株式市場および現物資産市場は、インフレ動向に注目が集まるなかで欧米各国中央銀行の金融政策に強く反応する展開となりました。

2022年2月にロシアがウクライナに軍事侵攻したことによりエネルギー価格が上昇しました。その後も、戦争の長期化とロシアへの経済制裁に伴うエネルギーや食糧などの供給網に与える影響が懸念材料となったことに加えて、中国におけるゼロコロナ政策やコロナ感染者の推移なども注目材料となりましたが、当期の後半は欧州での天然ガス備蓄が進んだことや世界景気への不透明感などを背景に原油及び天然ガスの価格は下落傾向となりました。

貴金属価格は、ウクライナ戦争開始後にリスク回避的な資金の流入により上昇しましたが、その後は主に米国の金利見通しにほぼ連動する形となりました。金価格と銀価格でややまちまちな動きとなる場面もありましたが、いずれも米国10年国債利回りが4%を超えた10月中旬ごろまで下落したあと、金融引き締め減速見通しに伴って上昇しました。

不動産関連株式は、ウクライナ戦争開始後に世界景気の先行き懸念などから下落し、その後は欧米の長期金利上昇を受けてさらに下落しました。期末にかけては金融引き締め減速見通しなどから上昇しましたが、期初の水準には届きませんでした。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界の実物資産等へ分散投資を行います。当ファンドの目的は、世界の実物資産への投資を通じ、投資信託財産の資産価値を保全しつつ、着実に成長させることです。これに向けて、定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、検証を重ねたアルゴリズムにより配分を変更します。当期もそのように運用を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用方針に対して適切に比較できる指数がないため、ベンチマークならびに参考指数は設定しておりません。

○今後の運用方針

引き続き、主として世界のETFに投資することで、実質的に世界中の实物資産への投資と経済的に同様な効果を得ることを目指します。定期的に評価基準に基づいてETFを選定し、組入比率を調整して参ります。

○1万口当たりの費用明細

(2022年2月1日～2023年1月31日)

| 項 目 | 当 期 | | 項 目 の 概 要 |
|--------------------------------------|---------------|-----------------------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| (a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券) | 円 2 (2) | % 0.015 (0.015) | (a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| (b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券) | 0 (0) | 0.000 (0.000) | (b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| (c) そ の 他 費 用 (そ の 他) | 0 (0) | 0.001 (0.001) | (c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用 |
| 合 計 | 2 | 0.016 | |
| 期中の平均基準価額は、14,582円です。 | | | |

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年2月1日～2023年1月31日)

投資信託証券

| 銘柄 | | 買付 | | 売付 | |
|----|------------------------------|-------|--------|-------|------|
| | | 口数 | 金額 | 口数 | 金額 |
| 外国 | アメリカ | 口 | 千米ドル | 口 | 千米ドル |
| | ISHARES GOLD TRUST | 4,149 | 140 | 2,869 | 96 |
| | ISHARES TIPS BOND ETF | 2,403 | 275 | 1,079 | 129 |
| | ISHARES US REAL ESTATE ETF | 4,630 | 432 | 1,004 | 96 |
| | ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY | 1,712 | 33 | 2,384 | 49 |
| | ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR | 1,448 | 66 | 376 | 18 |
| | ISHARES SILVER TRUST | 7,820 | 149 | 3,380 | 66 |
| | SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E | 2,203 | 64 | 99 | 3 |
| | ENERGY SELECT SECTOR SPDR | 919 | 71 | 2,306 | 180 |
| 小計 | 25,284 | 1,234 | 13,497 | 640 | |

(注) 金額は受け渡し代金。

○利害関係人との取引状況等

(2022年2月1日～2023年1月31日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年1月31日現在)

外国投資信託証券

| 銘柄 | 期首(前期末) | | 当 期 末 | | 比 率 | |
|------------------------------|---------------|--------|-----------|-------------|---------|--|
| | 口 数 | 口 数 | 評 価 額 | | | |
| | | | 外 貨 建 金 額 | 邦 貨 換 算 金 額 | | |
| (アメリカ) | 口 | 口 | 千米ドル | 千円 | % | |
| ISHARES GOLD TRUST | 15,654 | 16,934 | 617 | 80,509 | 21.2 | |
| ISHARES TIPS BOND ETF | 3,746 | 5,070 | 550 | 71,843 | 18.9 | |
| ISHARES US REAL ESTATE ETF | 6,063 | 9,689 | 879 | 114,782 | 30.2 | |
| ISHARES GLOBAL CLEAN ENERGY | 4,326 | 3,654 | 73 | 9,611 | 2.5 | |
| ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTUR | 3,720 | 4,792 | 229 | 29,953 | 7.9 | |
| ISHARES SILVER TRUST | 6,378 | 10,818 | 234 | 30,571 | 8.0 | |
| SPDR DJ INTERNATIONAL REAL E | 2,494 | 4,598 | 131 | 17,169 | 4.5 | |
| ENERGY SELECT SECTOR SPDR | 3,389 | 2,002 | 178 | 23,283 | 6.1 | |
| 合 計 | 口 数 金 額 | 45,770 | 57,557 | 2,895 | 377,724 | |
| | 銘 柄 数 < 比 率 > | 8 | 8 | — | <99.5%> | |

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○投資信託財産の構成

(2023年1月31日現在)

| 項 目 | 当 期 末 | |
|--------------|---------------|-----------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| 投資信託受益証券 | 千円 377,724 | % 99.4 |
| コール・ローン等、その他 | 2,302 | 0.6 |
| 投資信託財産総額 | 380,026 | 100.0 |

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（378,081千円）の投資信託財産総額（380,026千円）に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=130.47円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年1月31日現在）

| 項 目 | 当 期 末 |
|-----------------|--------------|
| | 円 |
| (A) 資産 | 380,026,281 |
| コール・ローン等 | 2,301,392 |
| 投資信託受益証券(評価額) | 377,724,889 |
| (B) 負債 | 221,884 |
| 未払解約金 | 221,884 |
| (C) 純資産総額(A-B) | 379,804,397 |
| 元本 | 256,032,485 |
| 次期繰越損益金 | 123,771,912 |
| (D) 受益権総口数 | 256,032,485口 |
| 1万口当たり基準価額(C/D) | 14,834円 |

(注) 当ファンドの期首元本額は207,497,116円、期中追加設定元本額は61,732,941円、期中一部解約元本額は13,197,572円です。

(注) 2023年1月31日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・THEO リアルアセット・ファンド（世界の実物資産中心） 254,169,910円
- ・THEOベスト・バランス・ファンド 1,862,575円

(注) 1口当たり純資産額は1,4834円です。

○損益の状況（2022年2月1日～2023年1月31日）

| 項 目 | 当 期 |
|------------------|--------------|
| | 円 |
| (A) 配当等収益 | 8,009,883 |
| 受取配当金 | 8,007,986 |
| 受取利息 | 1,897 |
| (B) 有価証券売買損益 | 30,624,381 |
| 売買益 | 54,232,118 |
| 売買損 | △ 23,607,737 |
| (C) 保管費用等 | △ 2,553 |
| (D) 当期損益金(A+B+C) | 38,631,711 |
| (E) 前期繰越損益金 | 62,645,604 |
| (F) 追加信託差損益金 | 28,741,797 |
| (G) 解約差損益金 | △ 6,247,200 |
| (H) 計(D+E+F+G) | 123,771,912 |
| 次期繰越損益金(H) | 123,771,912 |

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。